

博士号取得

電力ネットワークグループ

平野 正義

電力技術研究所 電力ネットワークグループの平野正義さんは平成17年3月20日に信州大学から博士号(工学)を授与されました。

平野さんは入社以来、技術開発本部にて設備保全・水質管理に関連した研究に従事しており、平成14年からは信州大学大学院工学研究科博士後期課程システム開発工学専攻に入学し、発電用蒸気タービン材料ならびにボイラ機器材料の腐食防食に関する研究を続けてきました。

今回の博士号授与は設備保全・水質管理技術に関する研究成果をまとめた「火力発電プラント蒸気タービン材料の耐食性評価ならびに保管中ボイラ機器の電気化学的腐食監視法に関する研究」と題する論文が、設備保全における水質管理技術の高度化に寄与するとして高い評価を受けたためです。

平野さんは「学位授与までに至ることができたのは諸先輩方の理解と配慮が得られたため」とその喜びと感謝の気持ちを表しています。



平野 正義さん

原子力・材料グループ

杉山 亘

電力技術研究所 原子力・材料グループの杉山 亘さんは、平成17年3月20日に信州大学から博士(工学)の学位を授与されました。

杉山さんは、電力技術研究所に配属以来、低レベル放射性廃棄物の減容処理に関する研究に従事しながら、平成14年度から信州大学大学院工学系研究科材料工学専攻博士後期課程に在籍しました。

今回、博士号を授与された「超臨界水を用いた低レベル放射性廃棄物処理に関する研究」と題する論文は、模擬低レベル放射性廃棄物を超臨界水処理し、処理後の放射性物質の移行について解明したもので、その成果は、超臨界水処理技術に関して高い評価されております。

杉山さんは、「社内外の多くの方々にご指導、ご鞭撻を頂戴したことにより学位取得ができ、感謝の念に堪えません。この感謝の気持ちを、諸業務で応えたいと思います。」とその喜びを表しています。



杉山 亘さん

お客さま技術グループ 住環境チーム 森 秀樹

エネルギー応用研究所 お客さま技術グループ 住環境チームの森秀樹さんは、平成17年3月23日に中部大学から博士(工学)の学位を授与されました。

森さんは、エネルギー応用研究所で電磁調理器に関する研究に従事しながら、平成14年度から中部大学大学院工学研究科博士課程電気工学専攻に在籍しました。

今回、博士号を授与された「電力環境を改善する半導体電力変換装置とその応用に関する研究」と題する論文は、電源高調波の低減を機器側から解明したもので、その成果は電力変換面で高く評価されております。

森さんは、「社内外の多くの方々のご支援により学位取得できました。この成果をより効率的で安定な機器開発業務に活かしたいと思っております。」とその喜びを表しています。



森 秀樹さん

日本冷凍空調学会賞“技術賞”を受賞

当社エネルギー応用研究所が東芝キャリア殿と共同開発した高効率ビル用マルチエアコン「スーパーモジュールマルチ」が、5月16日に開催された(社)日本冷凍空調学会通常総会において、平成16年度日本冷凍空調学会賞技術賞を受賞しました。

同賞は、冷凍・空気調和、ヒートポンプおよび食品冷凍などに関する科学・技術の向上と普及を目的として、優れた機器・製品・技術に対して贈られるもので、当社としては初めての受賞となります。

受賞した「スーパーモジュールマルチ」は、オフィスビルの個別分散空調における省エネ性、信頼性を徹底

追及したビル用マルチエアコンで、新冷媒R410Aの採用、圧縮機などの要素部品の高効率化により、冷暖平均エネルギー消費効率(COP)は業界トップクラスの3.8(冷房能力28kW機)を達成しました。

冷・暖房能力を消費電力で除した値。この値が大きいほど省エネ性が高いことを示します。



開発を担当した
永松主任、渡邊グループ長